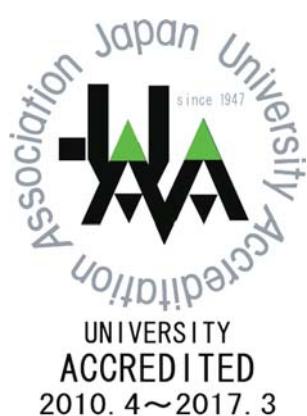


奥羽大学報



<紅葉に染まるキャンパス>



128

— 目 次 —

| | |
|---------------------------------------|---|
| 第18回奥羽祭／父兄授業参観日／保護者懇談会 ······ | 2 |
| (薬)キャリアガイダンス／外部評価委員による実地調査／ | |
| 博士(歯学)学位記授与式／職場体験学習／第50回奥羽大学歯学会 ··· 3 | |
| 第2回機能性材料・製造プロセス研究会／ | |
| 第49回日本薬学会東北支部大会／国際学会発表報告／ | |
| 第1回薬学部教育研修・講演会 ······ | 4 |
| 奥羽大学公開講座／平成22年度高大連携講座開催状況／附属病院 ··· 5 | |
| 同窓会だより／同窓生のひろば ······ | 6 |
| 人事 ······ | 7 |
| 平成23年度一般選抜入学試験・編入学試験 ······ | 8 |



遠藤 優希

(実行委員長 薬学部4年) を発揮していて、例年の奥羽祭を取り戻せたように思いました。

雨天時の予定の甘さを突き付けられましたが、一人でも多くの来場者の方に楽しんでいただきたいという想いは、実行委員も各団体も同じでした。奥羽祭に来ていた方々にも、わくわくしていただきたくて付けた「Page One」というテーマも、まず主催側の学生が学祭を楽しみ盛り上げたからこそ、来場者の方々にも一緒に楽しんでいただけたのではないかと思います。

今年の反省点を活かして次の実行委員会にはより楽しい大学祭を創っていって欲しいと願うばかりです。

最後になりましたが、奥羽祭を運営するにあたり、ご助力いただきました全ての方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。



多くの来客があり盛況であった(2日目の模擬店の様子)



学内の茶室を利用した茶道部による「おもてなし」

父兄授業参観日

歯学部

10月1日(金)に第5学年を除く全学年を対象とした父兄授業参観を実施した。

参観には、予想を上回る保護者が来学し、各学年の講義や実習を精力的に参観され、教室の雰囲気や学生の授業態度、教員の授業形式を観察できて、大変良かったとの意見が寄せられた。また、奥羽祭と同時期の開催を希望する意見もあったので、来年度の検討課題としたい。

保護者懇談会

歯学部

10月2日(土)、歯学部保護者懇談会を開催し、200名を超える父兄の方が参加された。

三者面談形式で出欠状況、試験成績や生活態度について話し合われ、今後の改善点や展望について確認をした。特に6学年では卒業試験や国家試験について、4学年ではCBTやOSCEについてク

ラス担任より詳しい説明を受けていた。

また、今回新たに学年別懇談会を設け、学年主任や同学年の父兄との情報交換が活発に行われ好評だった。



学生一人ひとり面談をし、キメ細やかな指導を行う

薬学部

10月9日(土)午前10時より第2講義棟第1講義室で薬学部保護者懇談会を開催した。

10時20分から11時20分まで薬学ゼミナール副学長 木暮喜久子氏による「6年制国家試験を見越したCBT対策—社会が求める薬剤師を目指して—」という内容の講演が父兄と教職員対象に行われた。

また11時30分からは各学年ごとに、1~3年生まではクラス担任、4年生はアドバイザーが父兄との個別相談を行った。

第18回奥羽祭

10月9日(土)、10日(日)に第18回奥羽祭を無事に開催することができました。今年は3,431人の方々に来場していただきました。

大学祭一日目は生憎の雨天で、私を含め実行委員は雨天時の奥羽祭を誰も経験したことがなく、予定をしていた企画の変更や、一日目に奥羽祭に来ていたハマカーンによるお笑いライブも急遽場所の変更を行うなど、来場者の方々へご迷惑をおかけし、また学祭を運営する上でも様々な反省点が出ました。大学祭二日目は、前日の雨が嘘のような快晴で、実行委員も各団体も本来の力

を発揮していて、例年の奥羽祭を取り戻せたように思いました。

雨天時の予定の甘さを突き付けられましたが、一人でも多くの来場者の方に楽しんでいただきたいという想いは、実行委員も各団体も同じでした。奥羽祭に来ていた方々にも、わくわくしていただきたくて付けた「Page One」というテーマも、まず主催側の学生が学祭を楽しみ盛り上げたからこそ、来場者の方々にも一緒に楽しんでいただけたのではないかと思います。

今年の反省点を活かして次の実行委員会にはより楽しい大学祭を創っていって欲しいと願うばかりです。

最後になりましたが、奥羽祭を運営するにあたり、ご助力いただきました全ての方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

(薬)キャリアガイダンス

10月13日(水)、薬学部棟513教室にて、リ・オルグの柳沼 佐千子さんを講師として迎え、キャリアガイダンスを開催した。

全学年を対象とし、「すべてはチャンスに～やる気思考力の作り方～」というテーマでお話いただいた。一人の人が持つ「思い込み」の数が平均100～200個あると聞いた学生たちはすぐに話に引き込まれていた。

また、相手の困っていることを聞き、明るい言葉やポジティブな解釈に変えて言うワークでは戸惑いながらも、相手を思いやりながら話している姿が印象的だった。



外部評価委員による実地調査

本学の第三者による実地調査が、明海大学学長安井利一氏、日本歯科大学生命歯学部長住友雅人氏、東北大大学院研究科教授根東義則氏により11月17日(水)午前10時から午後2時まで歯学部附属病院棟5階第3会議室で実施された。

実地調査は、平成21年度奥羽大学自己点検・自己評価報告書を基に質疑応答がなされた。

実地調査後外部評価委員より本法人の施設・設備が充実し教育環境が整っており学生を大切にしているとの評価を受けた。



写真奥左より根東義則教授、住友雅人歯学部長、安井利一学長

博士(歯学)学位記授与式

大学院歯学研究科

9月29日(水)に附属病院棟5階第3会議室で学位

記授与式が行われ、天野学長より以下の3名に博士(歯学)の学位記が手渡された。

玉村 清治 学位記番号 第282号

「炭酸ガスレーザー凝固モード照射に対する組織反応—照射条件が壊死範囲ならびに修復過程に及ぼす影響について—」

池山 丈二 学位記番号 第283号

「レーザー溶接の条件が純チタンプレートの変形に及ぼす影響」

安達 仁 学位記番号 第284号

「骨補填材の骨誘導に炭酸ガスレーザーが及ぼす影響」

職場体験学習

職業の内容を調べたり、あるいはその模擬体験をしたりしながら、働くことの意義について、ひいては自分の生き方について考える一つの契機として、職場体験学習をする中学校が増えている。本学はその意図に賛同し、毎年、生徒たちに体験の場を提供しているが、今年度はこれまでに、大槻中学校2年生と行健中学校2年生の訪問を受けた。生徒たちからは、「少し疲れたけれど、とても充実した職場体験でした」、「これまで知らなかった大学の中がよく分かって良かった」という感謝の言葉をいただいた。



歯科診療室を案内する板橋仁講師

第50回奥羽大学歯学会

11月13日(土)に附属病院棟5階臨床講義室で、標記の学会が開催された。発表された演題数は15題で、内容は基礎歯学から臨床歯学、教育に関するものまで幅広い分野に渡り、熱心な討議が展開された。さらに50回目の節目となる学会ということで、3名の講師によるインプラントに関する記念シンポジウムも行われ、多くの参加者を集めた。

第2回機能性材料・製造プロセス研究会

11月5日(金)午後から奥羽大学、日大工学部および郡山テクノ機構共催の「第2回機能性材料・製造プロセス研究会」が本学で開催された。天野学長の開会の挨拶で始まり、まず薬学部上野学生部長から本学の概要が話された。続いて、歯学部の川島教授、さらに薬学部の柏木教授による講演があり、活発な質疑応答があった。その後、薬学部の早坂教授の案内で大型機器室や薬草園等の見学会が催され好評のうちに散会となった。



薬学部の実習に参加者を案内

研究科の下川宏明教授、北海道大学大学院薬学研究院の菅原満教授、弘前大学医学部付属病院の早狩誠薬剤部長の特別講演もあり、活発な議論が行われ、参加者相互の研鑽を深めた。

前日の23日(土)には郡山ビューホテルアネックスにて懇親会が催され、参加者同士の意見を交換し合い親睦を深めると共に、当日は企業展示も出展され、盛会裏に終了した。

最後に、本大会の開催にあたり御協力頂いた関係者の皆様に、この場を借りて御礼申し上げる。



薬学部5年生の浅野昌宏君による発表

第49回日本薬学会東北支部大会

日本薬学会東北支部主催、東北病院薬剤師会共催による第49回日本薬学会東北支部大会が10月24日(日)、本学第2講義棟と第3講義棟を会場として開催された。

東北地区にある薬学部の教員・学生および病院・調剤薬局の薬剤師など272名が出席した。本学からも薬学部教員の他、実務実習の合間に研究を行った5年生からも多数の演題が寄せられ、日頃の研究成果を発表した。また、東北大学大学院医学

第1回薬学部教育研修・講演会

11月10日(水)18時30分から、独立行政法人労働者健康福祉機構 東北労災病院 薬剤部長の土屋節男先生をお招きし、「病院薬剤部門業務の昨今」と題してご講演をいただいた。薬学部教員25名、学生7名、外部1名の計33名が出席し、実務実習に関する話題や今日の業務およびチーム医療における薬剤師活動が紹介された。講演後には、6年制薬学教育の方向性などに関して、30分以上にわたる活発な意見交換が行われた。

国際学会発表報告

歯学部

| 開催期日 | 発表演題 | 国際学会名 | 開催地 | 本学参加発表者 |
|------|------------------------------------|--------------|------|---------|
| 7/16 | デクスマデトミジンは口腔粘膜血流量を減少させるのか | 第88回国際歯科研究学会 | スペイン | 川合宏仁 |
| 9/13 | 酸性細胞外pHにおけるメラノーマ細胞の高転移性を特徴付ける遺伝子発現 | 国際癌転移学会 | 米国 | 加藤靖正 |

薬学部

| 開催期日 | 発表演題 | 国際会議名 | 開催地 | 本学参加発表者 |
|---------------------|---|-------------------------|-----|---------|
| 10/17 ～ 10/20 | 規定された多重波の離散的な標本値に基づく最適な近似的信号再構成 多数の独立変数をもつ非齊次線形偏微分方程式の新しい数値解法の開発 | 2010年 情報理論とその応用国際シンポジウム | 台湾 | 木田雄一 |
| | | | | 木田雄一 |

奥羽大学公開講座

第19回奥羽大学公開講座は、9月18日(土)から10月9日(土)にかけて、延べ300名を超える聴講者を得て盛会裏に終了した。この講座は毎週土曜日に「心と身体の健康を考える」の総合テーマのもと開催してきた。今年度は、8講座の資料を一冊の冊子にまとめて便宜を図ったほか、毎回、歯ブラシやボールペンを配って、来聴者にささやかながら感謝の意を表した。終了後のアンケートからも本公開講座に対する期待の大きさがうかがわれた。



平成22年度高大連携講座開催状況

本学では社会に開かれた大学として教育・研究の情報発信に積極的に取り組んでおり、その一環として平成20年度から「高大連携講座」を実施している。「高大連携講座」とは、主に県内の高校に本学の教職員が伺い、研究の成果やその問題点を分かり易く説明する授業のことである。今年度のこれまでの実施は次の通りである。

| 実施日 | 担当教員 | 実施高校 学年 | テーマ |
|-------|-------|---------------|----------------------------------|
| 9/4 | 波多江 崇 | 尚志高校 2年 | 薬剤師業務を体験する |
| 9/9 | 清野 和夫 | 四倉高校 1年 | 噛むことは脳を活性化し、運動能力を増す |
| 10/28 | 横瀬 敏志 | 四倉高校 2年 | 歯はなぜ2回しか生えてこないの? |
| 11/10 | 柏木 良友 | 福島東高校 1・2年 | 薬を「体内の必要な部位に」、「必要な量を」、「必要な時だけ」運ぶ |

附属病院

歯科医師臨床研修指導歯科医講習会

9月4日(土)、5日(日)両日にわたり平成22年度歯科医師臨床研修指導歯科医講習会が、受講者25名(本学出身者12名および他大学出身者13名)で磐梯熱海清稜山クラブにて行われた。遠く大阪や香川からも集まった受講者は、歯科医師臨床研修の

理論や技術等を真剣に学んでいた。



附属病院管理運営事務研修会

10月14日(木)、15日(金)の両日、私立歯科大学附属病院管理運営事務研修会が本学の当番で、全国から歯科大学附属病院事務担当者40名が参加して開催された。

初日の討議は郡山ビューホテルアネックスで行われ、今日附属病院が直面している医療安全、患者確保、財務改善等の問題点について、その現状と対策について話し合った。2日目は本学へ会場を移し、歯学部鈴木敏城講師の特別講演、附属病院を見学した。その後、猪苗代に移動し、歯学との縁も深い野口英世記念館を訪れ、研修を終了した。



歯科衛生士科2年生臨床実習開始

東北歯科専門学校歯科衛生士科の第二学年21名は、1年半にわたり基礎系、臨床系科目の教養および手技を本学歯学部教員の教育連携を得ながら学習してきた。これらの成果を実践するための臨床実習が10月5日(火)より本学附属病院と市内12カ所の協力施設で開始された。実習内容は、歯石除去やう蝕予防処置、保健指導の他、多岐にわたる



り歯科臨床技術を修得する。実習期間は来年9月29日(木)までの1年間を予定しており、知識および実技能力を高めるための修練に全員が日々取組んでいる。

休日・夜間時の自衛消防訓練

9月21日(火)、附属病院4階病棟で休日・夜間時の自衛消防訓練を行った。勤務する人員に限りがある休日・夜間は、非常時の対応が難しく、平日昼間とは異なる入院患者誘導等を確認した。



訓練前の中葉利男病院事務長による説明

研修歯科医の研修協力施設派遣

本学附属病院で1年間臨床研修を行う単独型研修プログラムの研修歯科医全員が、研修協力施設(つかはら歯科、宝沢伊藤歯科、ごん歯科、猪去歯科、はしもと歯科、森宿歯科、藤田歯科:順不同)に1名1施設1週間(実施期間:9月6日~10月22日)と短い期間ではあったが見学を行い、大変有意義な経験をさせて頂いた。

研修セミナー特別講演

10月7日(木)、附属病院棟5階臨床講義室にて、歯学部同窓会学術部員の服部敏先生(18期卒)を講師に迎えて、「地域医療における歯科医師の社会的役割」という演題で研修セミナーが開催された。服部先生は福島県棚倉町と東京都渋谷区に開業されており、地方と都心部の患者さんの治療に対する要望の違い等について講演された。セミナー対象の研修歯科医の皆さんばかりではなく、教職員も熱心に聞き入り、終了後には質疑応答も活発になされた。



同窓会だより

同窓の先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年の猛暑も去り、寒さが一段と身にしみる季節になりました今日この頃。今年は大雪の予報もあり心配です。昨年6月の郡山ビューホテルアネックスにおける「福島県支部30周年式典」に際し、各県支部および連合支部より多数の先生方の出席をいただきましたことをこの場で厚く御礼申し上げます。

現在福島県支部は2期目古田倫郎支部長のもと、3人の副支部長と会計・庶務・専務そして県内4方部から14名の理事者・監事2名で会務を執行しております。年間行事は、6月の総会、ゴルフ大会、11月末の社保研修会、忘年会が主たるものですが、本年は10月2日(土)に東京歯科大学と合同の学術研修会を開催いたしました。その際、元総合磐城共立病院口腔外科部長 椎木一雄先生より演題「歯科治療における薬剤の基礎知識と投薬のポイント」にてご講演を頂き、多数の参加者がありました。

県内は、県北・県南・いわき・会津と4方部に分かれており、各方部で社保研修会および学術研修会を独自に開催し活発に活動しております。

4月には、本会役員による同窓会未加入者ならびに県歯科医師会会长による歯科医師会未加入者に加入を促進する説明会を開催し、今後も勧誘を勧めてまいります。6月の総会で、次年度より慶弔規約の一部改定と年会費の減額が決定し、勤務医・夫婦会員でも同額徴収することになりました。会員総数は300名を超えると予想されますが、現在、会員名簿が古くなり、規則規約集とあわせて本年度中の改訂に向け取り組んでいる次第です。

皆さんが卒業された時と現在では郡山の街並み、大学周辺はすっかり変わっております。

思い出の地「郡山」に是非お立ち寄りください。最後に皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

(福島県支部専務 加羽沢啓一)

同窓生のひろば



八木 孝

(歯学部3期生)

同窓会のみなさんこんにちは。
大学を卒業してすでに30年が

過ぎようとしておりますが、同世代の皆様におかれましては、家庭や仕事はもちろんのこと、歯科医師会あるいは地域社会の中で中心的な役割を担っておられる方が多いかと思います。

受験当時を振り返ってみると、歯科医師になろうという動機は、歯科医療の特殊性と技術の習得、使用材料や機材の多様性への興味であったと思思います。歯科医師の家庭に生まれたとはいえ、他のことはほとんど考えずにこの世界に飛び込んでしまいました。

この30年、世界の情勢は急激かつ大きく変貌する一方、日本国内においても経済の長期不安定や少子高齢化の波は我々の生活環境に大きな影を落として来ています。また、一般国民の医療に関する知識の向上や要求の個別化、複雑化は我々に医療の技術の高度化を要求し、時代に適応するために自己研修や機材設備への投資も必要になっていきます。

我々の世代の歯科医師は既存の学問で何とかここまでやってこられた訳ですが、次の世代を担う若い歯科医師は、より多面的に広く多くのことを学ぶことが要求されることになるでしょう。

歯科医師として残り少なくなり、子供たちが歯科医師になろうとしている今、果たして何をしてあげられるのでしょうか。毎日好きな仕事をして暮らせたらどんなに幸せなことか。これからは、この仕事を続けるために何かしらの新たな努力も要求されることは避けられないでしょう。

どうか大学におかれましては、今までの歯科の特色を踏まえながら、学生が将来にわたり歯科医療への限りない興味を持てるような卒後臨床研修の体制づくりや研究、臨床を展開するとともに、自らが自力で道を拓くことのできる能力を備えた歯科医師になれるように育てていただきたいと願います。

二瓶 哲
(薬学部1期生)

「チーム医療」というキーワードがよく話題にされ、薬剤師の業務範囲の見直しが行われつつある中、薬剤師がチーム内での存在感を高めるためにできることは何なのか、どのような貢献をするかが問われています。現場に立つ以前、学生の頃の授業や実習から染み付いたキーワードであり、わたしは当たり前に、薬剤師=チーム医療の一員という理想を持っていました。現在では、チーム医療の位置でわたし

はどれだけの存在かと疑問を抱いています。病院や調剤薬局に勤める1年目2年目の薬剤師の皆さんはどうでしょうか。

チーム医療の中で薬剤師は薬に関する高い専門性を積極的に駆使し、各医療スタッフがチームとして目的と情報を共有することにより、連携・補完を一層進めることの重要性はずいぶん耳にされ口にされ意識されていることでしょう。現場では、私自身それを実践するためのコミュニケーション不足を痛感し、医師や看護師の仕事を理解するとともに薬剤師の業務展開を知ってもらおうと努めています。たとえば、医師は主傷病の治療だけで時間が足りない場合もあるので、薬剤師が検査データ、バイタル、自覚症状など患者情報を踏まえ、支持療法や副作用等の症状軽減に最適な薬物療法の提案や変更、中止に参画することで、患者や家族、各医療スタッフにメリットが生まれています。

提案した薬で症状が改善しない、変更したことや悪化など業務への責任は増しますが、治療に対する責任を共有し、お互いの仕事を理解と補助することで少しづつ連携と補完が進んでいると期待しています。

人 事

〈定 年〉

| | | |
|-------|------------|---------|
| 遠藤 進 | 病院事務部・事務職員 | 8月22日付 |
| 伊東 敏夫 | 総務部・技術職員 | 9月12日付 |
| 秋山 哲夫 | 薬学部・教育職員 | 10月24日付 |

〈任 用〉

| | | |
|-------|------------|---------|
| 遠藤 進 | 病院事務部・事務職員 | 9月1日付 |
| 伊東 敏夫 | 総務部・技術職員 | 9月13日付 |
| 秋山 哲夫 | 薬学部・教育職員 | 10月25日付 |

〈退 職〉

| | | |
|-------|----------|---------|
| 竹内 操 | 薬学部・教育職員 | 9月30日付 |
| 太田 麻生 | 薬学部・教育職員 | 9月30日付 |
| 高録 伸郎 | 薬学部・教育職員 | 10月31日付 |

奥羽大学報128号(通算No.253)平成22年11月30日発行

| | |
|---------------|---------|
| 発 行 | 奥 羽 大 学 |
| 学 報 編 集 委 員 会 | |
| 委員長 | 天 野 義 和 |

963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1
電話 024 (932) 8931代 FAX 024 (933) 7372
ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>
メールアドレス info@ohu-u.ac.jp

歯学部学費を大幅に減額しました。

負担は軽く、より学びやすく。 新学費制度導入。

私たち奥羽大学は、現在の経済の状況をふまえ、受験生のみなさんの経済的負担をより軽減できるよう、さらなる教育料金の引き下げを実施いたします。

2011年度より、歯学部の入学時納入金を550万円引き下げました。これにより、毎年納入いただく金額が平準化され、6年間ほぼ同等の学費で学ぶことができるようになります。

| | | | | | | | |
|--------|-------|---|--------------|-------|---------|---|----------------|
| 初年度納入金 | 950万円 | ➡ | 400万円 | 6年間合計 | 2,700万円 | ➡ | 2,150万円 |
|--------|-------|---|--------------|-------|---------|---|----------------|

| 区分 | 改定後 | | | 現行 | | |
|---------|------------------|------------------|-------------------|-----------|-----------|------------|
| | 初年度 | 2年次以降 | 6年間合計 | 初年度 | 2年次以降 | 6年間合計 |
| 入学金 | 500,000 | — | — | 500,000 | — | — |
| 授業料 | 3,500,000 | 3,500,000 | 21,000,000 | 3,500,000 | 3,500,000 | 21,000,000 |
| 歯学教育充実費 | 0 | — | — | 5,500,000 | — | — |
| 計 | 4,000,000 | 3,500,000 | 21,500,000 | 9,500,000 | 3,500,000 | 27,000,000 |

平成23年度一般選抜入学試験・編入学試験

| 区分 | 試験科目 | 募集人員 | 出願期間 | | 試験日 | 合格発表 | 試験会場 |
|-----|---|------|---------------------------------|----------------|----------------|-------------|------|
| 歯学部 | 一期 ・英語(I・II)、数学(I・II-A) から1教科選択 | 36名 | H23. 1. 7 (金) ~ H23. 1. 25 (火) | H23. 1. 27 (木) | H23. 1. 28 (金) | | 本学 |
| | 二期 ・理科(物理I、化学I、生物Iから1科目選択) | 5名 | H23. 2. 7 (月) ~ H23. 2. 17 (木) | H23. 2. 19 (土) | H23. 2. 20 (日) | | |
| | 三期 ・小論文・面接 | 5名 | H23. 2. 21 (月) ~ H23. 3. 1 (火) | H23. 3. 3 (木) | H23. 3. 4 (金) | | |
| | 四期 ・小論文・面接 | 5名 | H23. 3. 14 (月) ~ H23. 3. 24 (木) | H23. 3. 26 (土) | H23. 3. 27 (日) | | |
| | 編入学 ・小論文・面接 | 若干名 | H22. 10. 1 (金) ~ H23. 3. 24 (木) | 随時 | 試験日から3日以内 | | |
| 薬学部 | 一期 ・英語(I・II)、数学(I・II) ・理科(物理I、化学I、生物Iから1科目選択) | 60名 | H23. 1. 7 (金) ~ H23. 1. 28 (金) | H23. 1. 31 (月) | H23. 2. 2 (水) | 本学 仙台・大宮 | 本学 |
| | 二期 ・英語(I・II)、数学(I・II) ・理科(物理I、化学I、生物Iから1科目選択) | 10名 | H23. 1. 17 (月) ~ H23. 2. 4 (金) | H23. 2. 7 (月) | H23. 2. 9 (水) | 本学 仙台 | |
| | 三期 ・英語(I・II)、数学(I・II) ・理科(物理I、化学I、生物Iから1科目選択) | 10名 | H23. 2. 7 (月) ~ H23. 2. 18 (金) | H23. 2. 21 (月) | H23. 2. 23 (水) | | |
| | 四期 ・英語(I・II)、数学(I・II) ・理科(物理I、化学I、生物Iから1科目選択) | 10名 | H23. 2. 28 (月) ~ H23. 3. 15 (火) | H23. 3. 17 (木) | H23. 3. 18 (金) | | |
| | 編入学 ・小論文・面接 | 若干名 | H22. 10. 1 (金) ~ H23. 3. 24 (木) | 随時 | 試験日から3日以内 | | |

■ 編入学出願資格: 教務課入試係までお問い合わせください。